

NGO・外務省定期協議会「ODA 政策協議会」 ODA 過去案件共同レビューの実施方針

1. レビューの目的

レビューの目的は、過去の ODA 案件をレビューし、PDCA サイクルにおける課題・教訓を明確化し、教訓の拡充・活用方法の検討を行うことにより、ODA の更なる質の向上を図ること、とする。

特に、過去案件から得られる教訓の拡充・活用方法の検討を中心に行うこととする。

2. 実施方法

NGO・外務省定期協議会「ODA 政策協議会」（以下「協議会」と言う）の下に、ODA 過去案件共同レビュータスクフォース（TF）を設置する。タスクフォース（TF）のメンバーは、協議会の構成員である外務省、NGO に加え、レビューを受ける立場としての実施機関たる JICA とする。レビューは以下の 3 段階で実施する。

- 第 1 段階：机上分析によるレビュー（以下「机上レビュー」）を実施し、共通した問題点やその要因等を抽出する。
- 第 2 段階：机上レビューにおいて明確にならなかった点などをレビューするための共同現地調査を実施する。（調査対象国・案件は机上分析によるレビューの結果を踏まえ検討する。）
- 第 3 段階：今後の質の向上のために、PDCA サイクルの強化に向けた教訓の拡充・活用方法を検討する。

3. レビュー対象案件の選定方法

タスクフォース（TF）にて、外務省、NGO、JICA の 3 者で協議の上、決定する。

4. タスクフォースの開催方法

NGO 側メンバーについては協議会の NGO 側で選定するが、メンバーの合意があればメンバー以外の参加を可能とする。

タスクフォース（TF）会合を数回開催し、必要に応じて協議会に報告する。また、議論についてはチャタムハウス方式とするが、議事の要約は公開する。

（参考）開催スケジュールのイメージ（仮）

- 2013 年 4 月～6 月：机上レビュー（タスクフォース（TF）会合を数回程度開催）
- 2013 年 7 月～9 月：現地調査実施
- 2013 年 10 月～12 月：教訓抽出・成果物作成（タスクフォース（TF）会合を数回程度開催）

5. 想定される成果物

レビューの結果は報告書あるいは教訓集等にまとめ、幅広く公開するとともに、ODA 政策協議会や適正会議等で報告・発表する。報告書／教訓集のクレジットは ODA 過去案件共同レビュータスクフォース（TF）（NGO・外務省）とし、NGO・外務省の両者が合意できる分析・提案を記載する。（ただし、両者で異なる見解を有する部分がある場合には、両論併記もあり得る。）

NGO・外務省定期協議会「ODA 政策協議会」 ODA 過去案件共同レビュー
タスクフォース NGO メンバー募集要項

ODA 政策協議会コーディネーター

1. 背景

NGO・外務省定期協議会「ODA 政策協議会」（以下「協議会」と言う）では、PDCA サイクルにおける課題・教訓を明確化し、教訓の拡充・活用方法の検討を行うことにより、ODA の更なる質の向上を図ることを目的として、過去の ODA 案件をどのようにレビューしていくか議論を進めてきたが、この度、協議会の下に ODA 過去案件共同レビューを実施するタスクフォースを設置することとなった。については、以下の通り、タスクフォース NGO メンバーを募集する。

2. タスクフォース NGO メンバーの役割

以下の 3 段階で実施する ODA 過去案件共同レビューに参加し、積極的な議論・提案を行う。また、適宜、協議会参加 NGO にタスクフォースの議論内容・進捗を報告し、他の NGO との意見交換を行うこと。

- 第 1 段階：机上分析によるレビュー（以下「机上レビュー」）を実施し、共通した問題点やその要因等を抽出する。
- 第 2 段階：机上レビューにおいて明確にならなかった点などをレビューするための共同現地調査を実施する。（調査対象国・案件は机上分析によるレビューの結果を踏まえ検討する。）
- 第 3 段階：今後の質の向上のために、PDCA サイクルの強化に向けた教訓の拡充・活用方法を検討する（レビューの結果は報告書あるいは教訓集等にまとめることを想定）。

※ODA 過去案件共同レビューの開催方法については、別添の実施要項案を参照。

3. タスクフォース NGO メンバーの要件

- ODA の政策や案件について、十分な NGO 活動経験・知識・見解を有すること。
- 過去案件の机上分析やレビュー結果まとめ等の実施、タスクフォース会合（東京にて数回程度を想定。ただし、参加できない会合については、所属 NGO の他の方の代理参加も可）や現地共同調査（海外）への参加が原則として可能なこと。
- ODA の政策や案件について取り組む所属 NGO より推薦を受けていること。

4. 申し込み方法

所属 NGO・名前・連絡先を明記の上、2013 年 2 月 8 日までに下記までメールで応募ください。なお、上記要件を確認するため、追加の資料を提出して頂く場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ODA 政策協議会 NGO コーディネーター事務局：

Tel: 03-3834-2388、E-mail: oda.advocacy@gmail.com

担当：田辺有輝、高橋清貴

2013 年 2 月 22 日

NGO・外務省定期協議会「ODA 政策協議会」ODA 過去案件共同レビュー
タスクフォース NGO メンバー

標記 ODA 過去案件共同レビューのタスクフォース NGO メンバーが、公募の結果、以下のように決まりましたので、御報告致します。

名前	所属	役職
満田 夏花	FoE Japan	
松本 悟	特定非営利活動法人メコン・ウォッチ	顧問
川村 暁雄	特定非営利活動法人関西 NGO 協議会	
田辺 勇輝	「環境・持続社会」研究センター	
高橋 清貴	ODA 改革ネットワーク	

ODA 政策協議会 NGO コーディネーター
担当：田辺有輝、高橋清貴